



神奈川民部省

燈明臺御入用

辰年 卯月
巳九月 中造

對校既濟



114
A 3930

此張大藏

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈



存
己卯月中
燒

一 金三枚五分

大正十一年四月十日
同共八日

一 金四枚五分

同共九日

一 金六枚五分

同共十日

一 金四枚五分

同共十一日

一 金八枚五分

同共十二日

一 金七枚五分

同共十三日

神宗川民部省

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百四兩 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

金百枚 右 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 三子 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

洋張 七五 前 同日辰 十二日 分
同日辰 十二日 分

一 洋張子布

出張大 洋張子
此の布は洋張子の細製で
役不用にしてフランドルに
似て

一 洋張子三枚布

此の布は洋張子の長
三枚布

一 洋張子三百三枚布

右同

一 洋張子百枚布

右同 フランドルに似

一 洋張子三百布

右同 此の布は洋張子の
液

一 洋張子八百五枚布

右同 此の布は洋張子の
液

一 洋張子六百枚布

右同 此の布は洋張子の
液

此の布は洋張子の
液

一 洋張子四百枚布

右同 此の布は洋張子の
液

此の布は洋張子の
液

一 洋張子百布

右同 此の布は洋張子の
液

金百七拾五

金百拾五

於此取用河泥清立
入用子以即後

金百拾五

右同河砂金

洋浪土百種

家及造屋等所用之砂金
洋浪土乃係子砂人無辨
後

金百三拾五

并天海等之波戶指
集立此之用

金七拾五

此乃新製者送用
持時百斤買此代七以印
後

金二百三拾五

此乃新製者送用木枝
買上代保此印後

金三百拾五

右同河人液

金百拾五

右同河人液

永年百拾五

神奈川 民部省

一 金板五

出張大藏
古同形板一枚
買上代

一 金七板九角五分永板文

古同形板一枚買上代

一 金板四角五分

板の形を製し送る
不大筒并石工の買

一 金三角永板百文

石炭板揚人三候
板六人分

一 金四角五分

永板百文五分

板の形を製し送る
使了後小買代

合 金七角五分永板五分

洋浪式力子永板五分

外

一 洋浪式百文板

作信板者所給料

己二月... 四月... 五月... 六月... 七月... 八月... 九月... 十月... 十一月... 十二月...

金子西

大陽丸船場外
水交経科...
ウル液

金子百五

橋本神戶...
アルクス...
ウル液

金子百六...
金子百七...
金子百八...
金子百九...
金子百十...

橋本神戶...
買上...
并積積

出張大蔵

一 金四百五十兩

船具船并座布地角
所段付帆并日丸
船中買上代

一 金五百九十兩

船七崎マニラ船并アル
リス船へ榜出ル石炭
百四十トニ買上代ゴロ
ウル液

一 金千両

大蔵式換代長寄
製法所液

一 金五百九十兩

船中買上代

一 金百五十兩

船中買上代
船中買上代
船中買上代
船中買上代

一 洋銀壹万七千五百

ソシライス船中買上代
代アスヒキルコロンク液

一 洋銀四万布

右同新

一 洋銀千三百五十兩

合葉三音指上代
代ゾムブスム液

神奈川民部省

一 洋張四百帛

石炭買上代
アスヒ子ルコニス液

一 洋張百五帛帛

日本國支那國露露帛
帛時斗代目人液

一 洋張百九帛帛帛

帛帛三セント

燧石船ホ立用棒液
其外鉄具敷ウイトフ
井ルトタウソ液

一 洋張百帛帛帛

帛帛三セント

ソニライス帛帛帛帛
三月六日同十八日迄
料帛帛帛帛帛帛

一 洋張六帛帛帛

帛帛九セント

前同帛帛帛帛帛帛
三月六日同十八日迄
食料買上代目人液

一 洋張七百九帛帛帛

帛帛三セント

内ハ帛帛ソニライス

年天世香帛帛帛帛帛
ソニライス帛帛帛帛帛
輸送帛帛帛帛帛帛

一 洋張百帛帛帛帛

燧石船ホ立用棒液
忘帛帛帛帛帛帛帛帛
ルトタウソ液

一 洋張百帛帛帛帛

燧石船ホ立用棒液
同目人液

出張大蔵

洋張子九百番

三拾五セント

丸角を二階換掉訂
七外買又代并証候
乃用へルリーアルン液

洋張五百番

四拾五セント

箱具并皮水桶七外
買上ヶ代并証候ホ大用
同人液

洋張六百番

西産フランドン外邦人
給料液

洋張六百番

右同所

洋張五百番

ソニライズ水用洗掃
并換り洗水入代ル
ニ一液

洋張三百番

糸天に番落向盛物
塗代一々亜輝液

洋張三百番

三拾五セント

ソニライズ水用洗掃
給料并換り洗水入代
大工等外給料ホ諸へ用
フランドン液

金百武あき

七百文

ソニライズ水用洗掃
料証將フランドン液

神奈川県

出張大藏

一 洋張子式百布

此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり
仕事一ノ用ルニシテ液

一 洋張子式四十九布

此の標一ノ用ニテ液
并此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり

子九百七十部布三十一セント
四部布三十一セント
三部布三十一セント

一 洋張子式九百四布

此の標一ノ用ニテ液
并此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり

子三百部布七部布五部七セント
子百六十部布五部七セント
子百六十部布五部七セント

以下は液料且此の丸用
液料ノ用フラントン液
フラントン液液料
此の丸
此の丸

一 洋張九百九布

此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり
仕事一ノ用ルニシテ液

一 金八百九布

此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり
仕事一ノ用ルニシテ液

一 金四部布

此の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり
仕事一ノ用ルニシテ液

一 金百三布

右の丸製造は備用布
年々には無量の増産あり
仕事一ノ用ルニシテ液

神奈川氏部首

出張大藏

金百五拾四匁

右同形 年ソニライス取
換極細分法職人足

洋銀九百七拾弍

價銀之四日七匁
同形分

換上原長本
送言同言極細加
右之入後

洋銀九百七拾弍

右同新

金百五拾四匁

於右取製造 年ソニラ
イニ細極細分極細材

金百五拾四匁

于外買上代 年諸職人
足價之同形 同七匁

金百五拾四匁

於右取製造 年ソニラ
イニ細極細分極細材

金百五拾四匁

右同形 年諸職人足
價之同形 同七匁

金三拾六匁

右同形 製造用曲木
買上代 年諸職人足

金百五拾四匁

右同形 製造用職人足
價之同形 同七匁

洋銀五匁

於原長本 年諸職人足
送言同言 同七匁

神奈川民部省

出張大藏

一 洋銀四百兩

三浦村子大島系銀兩
大島へ持来り候建初代
左回人渡

一 洋銀二百五十兩

持来り候工右候所内地
亦手取付候所言へ向
七十七兩一兩

一 金百兩七兩五分

ソシライス取入日本入
水取候所人へ言ひ九百兩有
十九兩一兩一兩内給料水取
九兩一兩

一 金百兩七兩五分

持来り候製造並ソシ
ライス取付候替へ付候
人足候と二月廿二日
廿二日迄

一 金九兩

持来り候製造並用曲ッ木
買上代付候所の内渡

一 金百兩七兩五分

持来り候製造並ソシ
ライス取付候替へ付候
人足候と二月廿二日
廿二日迄

一 金百兩四兩三兩五分

持来り候製造並用板材
其外買上代付候所
渡二郎渡

一 金百兩七兩五分

持来り候製造並ソシ
ライス取付候替へ付候
人足候と二月廿二日
廿二日迄

神奈川民部首

一 金百五拾五匁

出張大 職
法用之物入常備金を掉
買上代田島屋様三印渡

一 金百六拾五匁

於此取製造并ソライス
取捨極者并諸職人等
候正三月十三日同十九日
迄五分

一 金百九拾五匁五分

右同所諸職人等候
三月廿日同廿六日迄五分

一 金百五匁五分 永倉屋受下

横濱表公在東京市用
快注立人三俣人

一 金百七拾五匁五分

豆州下南表ソライス
取之積送不石敷松揚ケ
人三俣要送渡

一 金百五匁五分

右同所ソライス取
年天由普信坊近福松
七被度候水九送渡

一 金百五匁五分
楮幣五万五匁

豆州南不修所産二八送
用一丁五匁五分

一 金六百六拾五匁五分

永倉屋受下

於此産御役目程年
日尚五分五分

金三万五千五百兩

海限方子五百兩

楮幣五万五千兩

海百兩

出

巳四月... 付上帳

楮幣四萬七千五百兩

洋限百兩

金三万五千五百兩

金計有八... 神奈川

神奈川民部省

金四子出金銀三十分
楮幣三十分
東京金斗右
徳川金斗組

金八右
楮幣三十分
東京金斗右
徳川金斗組

金六子六白三十分
楮幣三十分
右同新

金六子五白
右同新

楮幣五十分
金斗右
徳川金斗組

金五右
厚日補通右
下田表出法中
右同新

金五右
楮幣三十分
右同新

一 永百二枚又七下

恒交神補通糸友柳糸
保方巾下因表出法之節
古存料法五五五五五五

金三万六千五百枚又五下

合 措幣三万五千九百二枚又五下

道限百九枚布 三枚又七下

此拂

一 金七万枚又五下

中道限五子以枚九布 三枚又七下

加原系極成松井工長家
徑亦用法買上物代フラント液

一 金五万四枚又五下

中道限三万枚又布 三枚又七下

燃原和用出前六枚平
板三枚又七下

一 金百九枚又五下

大工大柱 燃原三枚又七下
三月廿七日 同月三十一日

一 金三百二枚又五下

中 金五万七千七百枚又五下
中道限三万枚
但 燃原三枚又七下
卯一申液

燃原三枚又七下
并燃原和用材不買上代

出張大藏

一 金三百八拾九兩二分
三匁四分
永百八拾六文七下
出帳
三匁四分
方住持永建入用古銀
三匁四分

此は浪浪五匁三匁五十七セリト

但 三匁四分
浪浪五匁三匁

一 金五匁二分

原目試補通年有前福
其印様以製法所
出浪目古銀三匁

一 金百七拾六兩二分
永百八拾六文七下

三匁浪浪已四月四匁
四匁五匁

一 金九匁七拾六兩
永六拾五文七下

此は浪浪五匁三匁五匁
買上代浪三匁

一 金百五拾七兩
永七拾八文七下

此は浪浪五匁三匁五匁
代アルレシ液

此は浪浪五匁三匁五匁

但 三匁四分
浪浪五匁三匁

一 金四匁八百五拾九兩二分
永五拾八文七下

此は浪浪五匁三匁五匁
此は浪浪五匁三匁五匁

此は浪浪五匁三匁五匁

但 三匁四分
浪浪五匁三匁

一 金百拾兩

此は浪浪五匁三匁五匁
三匁四分
浪浪五匁三匁

一 金九百五拾九兩二分
永百八拾六文七下

二長任舟向貸外建物在代
此は浪浪五匁三匁五匁

此は浪浪五匁三匁五匁

但 三匁四分
浪浪五匁三匁

神奈川 氏部首

一 金貳百拾貳分
永百八拾支下
三藏銀已四月十日
同千七百九十三年

一 金百七拾貳分
永百八拾支下
豆紀由所西番信不
出浪より此及大なる
外七人支取りし者

一 楮幣壹万支
豆州神子元酒燈の巻
は普請に用金同不液

一 金百六拾九分
永百八拾支下
三藏銀已四月十日
同千四百九十三年

一 金四拾九分
永百八拾支下
浮標用存准并格も有
候七外浪買上代ウイット
フイル液
但 浪五拾支及ニト者

一 金九百分
永百八拾支下
煉成産物此和洋の丸
兼年天正普信坊入用者
永買上代ルニ一社年液
但 浪五拾支及ニト者

一 金三百九分
永百八拾支下
煉成取用諸品買上代
ウイットフイルターニ液
但 浪五拾支及ニト者

一 金四拾貳分
永百八拾支下
煉成産物此和洋の丸
兼年天正普信坊入用者
永買上代ルニ一社年液
但 浪五拾支及ニト者

一 金四百両

出張大藏

出張大藏
才三丁目五番下厚標
代ノ内ウイットフコロルタイソン

一 金百両

但

川蓋九寸カ松豆河下田
中口一ル石出灰兼一並酒
七外諸不男代古手液

一 金部

怪送一ノハ法之申

一 金

使丁ハヨ当

一 楮幣

楮幣
終極意潤後
楮幣
当并其の四人外之人
宿代一ノ月分

一 金百両

三蔵銀辰四月廿六日
同月二十七日

一 金

海威用フランドン液
但

一 金

突板之外陸
代ホルリス

一 金

神奈川民部省

出張大藏

金百七拾五匁

於此處正座英人マ
クニ作料

以百匁三百布

但三布一匁
張五匁の四下者

楮幣百匁の匁

三張俵限と月三ノ
同九ノと

金百七拾五匁

於此處用俵物
金百代キ亦硝子俵下

以百匁三百布
七拾ハセント

木罌上付ハ
タウリン液
但三布一匁

楮幣百匁の匁

於此處俵物
罌上付ハ
液

楮幣百匁の匁

豆紀古所正善信所ハ
子我我古所正善信所ハ
日当正古所正善信所ハ
日当正古所正善信所ハ

金百七拾五匁

以百匁三百布
七拾ハセント

以百匁三百布
七拾ハセント

以百匁三百布
七拾ハセント

楮幣百匁の匁

三張俵限と月三ノ
同九ノと

金百七拾五匁

於此處用俵物
金百代キ亦硝子俵下

以百匁三百布
七拾ハセント

木罌上付ハ
タウリン液
但三布一匁

神奈川氏部首

出張大藏

一 楮幣五匁

厚日補山口名外
老人在九月中人地
正音後物尺年二二
下長可也

一 楮幣百匁三分

長河下國信探用
四枚買代多自法
九匁後

言令いぬ

一 楮幣四匁

換取産物相殺
外人と月日給

言令いぬ

一 楮幣八匁百匁

豆柄下国表は
法用令日不

言令いぬ
一 楮幣四匁百匁

能表表日

言令いぬ

一 楮幣九匁五匁

換取産物相殺
外人と月日給

一 楮幣百匁三分

言令いぬ

一 楮幣七匁五匁

換取産物相殺
外人と月日給

一 楮幣五匁五匁

換取産物相殺
外人と月日給

神奈川民部省

一 金百二箇拵字の文

此海限百箇布一箇七下

此海限百箇布一箇七下
但長住向兼位下
石塚地字向之外角
七十郎没

一 楮幣三百箇拵字の文

此海限百箇布

但長住向兼位下
石塚地字向之外角
七十郎没

一 楮幣百箇拵字の文

此海限百箇布

三箇海限百箇布
廿四箇下

一 楮幣拵字の文

此海限百箇布

此海限百箇布
廿四箇下

一 楮幣九箇拵字の文

三箇海限百箇布
廿四箇下

一 楮幣拵字の文

上野殿
為申

一 金四箇拵字の文

此海限百箇布

此海限百箇布
廿四箇下

一 楮幣拵字の文

此海限百箇布
廿四箇下

一 楮幣 壹百枚 壹分
此の紙は正書信紙に
用いたる

一 楮幣 三枚 五
下圖表の書信紙用紙色
買付た紙一冊に
用いたる

一 金二百枚 壹分
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 楮幣 三枚 五
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 楮幣 四百枚 壹分
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 楮幣 三枚 五
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 楮幣 百枚 壹分
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 楮幣 三枚 五
此の紙は正書信紙に
用いたる
買付た紙一冊に
用いたる

一 金糸子二百六十枚

此は厚浪糸の七方九枚の糸

此の糸は上出の室造管
に用ゐられしものなり

一 金二百二十枚

此は洋浪糸の糸

此は凡用綢男上代
に用ゐられしものなり

一 金百七枚

此は厚浪糸の糸

此は凡用洗糸男上代
に用ゐられしものなり

一 楮糸百六十枚

此は凡用糸

一 楮糸百六十枚

此は凡用糸

一 金四百枚

此は厚浪糸の糸

此は凡用洗糸男上代
に用ゐられしものなり

一 金百六十枚

此は凡用糸

一 楮糸百六十枚

此は凡用糸

一 楮幣三百両分
永武百両分

於此處掛附高野川
至
下園表不向港、柳子迄
人口官尺所

一 楮幣拾二両五分

於此處用新物紙核
以質製紙所、不更元
当地へ五、一、少紙製紙
後

一 金三枚
高野三枚
楮幣拾両

於此處是病後子沢
之紙巾、三月、四月、

一 金三枚

於此處神戶、七、高野、
於此處九、高野、水先、
内、一、五、高野、

一 楮幣百両分

三藏、後、長、二、月、七、日、
日、廿、三、日、

一 金七両四分

此七兩四分、
高野、地、主、向、外、諸、
清、原、之、言、之、内、七、
但、

一 金百両分

此百両分、
力、以、質、上、代、ス、
ハ、一、リ、ル、後、
但、
限、七、日、

高野、長、寺、百、両、分、
高野、六、セ、ン、ト

金三萬石子七石七拾九石五分永百部又二下

後倉 楮幣一萬石子百七拾五石五分永部百三拾又二下

海邊百九拾石 三拾石セ二下

差引 金子三百四拾石五分永百部又二下 二日海邊百石

楮幣一萬石子七石三拾五石五分永部百三拾又二下

右長正四月六日同日海邊百石

本寺科 積拂書面之通正長正

明治二年七月

柳原屋抄

山家 野ノ殿外

無部 吉田長次之丞下

日部 徳田長吉郎下

刑部 早川長次郎下

甲田長斗下

海邊百石限者下

神奈川民部省

正七月申 燈籠屋の用金後拂 佐佐木

金二百四拾六両五分
正七月申 燈籠屋の用金後拂 佐佐木

楮幣七十両五分
正七月申 燈籠屋の用金後拂 佐佐木

金七十両
正七月申 燈籠屋の用金後拂 佐佐木

神奈川 氏部首

出張 大藏
室田若郎

正七月申 燈籠屋の用金後拂 佐佐木

一 金九百五十文

九百五十

一 楮幣五十文

大藏省へ送合し上
祿宗内府に送合す

一 金九十文

此の金は
高野山所存不審官様金
之内に送合す

一 楮幣百文

此の楮幣は
高野山所存不審官様金
之内に送合す

合 金九百七十文
楮幣百文

此楮

一 金七十文

此の金は
高野山所存不審官様金
之内に送合す

一 楮幣百文

但 此の楮幣は
高野山所存不審官様金
之内に送合す

一 楮幣百文

此楮

此楮

倉庫貯水書目表

出張大藏
貯水書目表
昭和二年六月

一 金口板

貯水書目表
昭和二年六月

付厚板

昭和二年六月

一 楮幣

大正十一年
六月廿四日

一 楮幣

昭和二年六月
六月廿四日

一 金口板

昭和二年六月

一 楮幣

昭和二年六月

一 楮幣

昭和二年六月

一 楮幣

昭和二年六月

出張大藏

一 楮幣六枚あり

紀伊表へ出渡りし一紙
田尻平三郎古香料

一 楮幣七枚あり

紀伊表へ出渡りし一紙
山本甫之介古香料

一 楮幣三枚あり

同日へ出渡りし一紙
箱兵衛人日吉屋古香料
別紙あり

一 金貨二枚あり

金貨二枚あり
一 寛文十一年
一 天明七年

江戸表へ出渡りし一紙
諸事代りし一紙
但三和年
一 天明七年

一 金貨五枚あり

金貨五枚あり
一 天明七年

紀伊表へ出渡りし一紙
一 天明七年
但三和年
一 天明七年

一 楮幣三枚あり

紀伊表へ出渡りし一紙
一 天明七年

一 楮幣二枚あり

紀伊表へ出渡りし一紙
一 天明七年

一 楮幣四枚あり

紀伊表へ出渡りし一紙
一 天明七年

神奈川氏部首

一 楮幣四百両分
上野殿の御用金として
本邦に出るに足るもの

一 楮幣二百両分
紀州の御用金として
在外の御用金として
積出の御用金として

一 楮幣二百両分
巴七月初二日下回表の
大急需用状に御用金

一 楮幣二百両分
巴七月初二日下回表の
御用金として御用金
積出の御用金として

一 楮幣二百両分
横濱の御用金として
御用金として御用金
積出の御用金として

一 金四百両分
御用金として御用金
積出の御用金として

一 金二百両分
御用金として御用金
積出の御用金として

一 金八拾二両永百文
御用金として御用金
積出の御用金として

一 楮幣百枚（百二） 三藏帳帳三十七日

一 楮幣八百枚（百二） 木枝男代

一 楮幣八百枚（百二） 楮幣

一 金五枚（百二） 七月

一 楮幣拾二枚（百二） 七月

一 楮幣百枚（百二） 七月

言金三枚

一 金三枚（百二） 七月

一 楮幣拾二枚（百二） 七月

一 金百枚（百二） 七月

一 此注浪百枚（百二） 七月

一 楮幣五枚（百二） 七月

一 此殘七枚（百二） 七月

一 金五枚（百二） 七月

一 楮幣五枚（百二） 七月

出張大藏

一 金百貫枚

豆河神子之身ありて
果てなるに其國籍に
小舟日本川飛出所
ありて大蔵にあり

一 金拾兩

前日録去前日録
あり三人前日録

一 金拾貫文

豆河神子之身ありて
英人マリス外島人
ありて同之に其國籍に
ありて大蔵にあり

一 楮幣百貫枚

三蔵録去七月
ありて大蔵にあり

一 楮幣拾兩

豆紀兩所燈明堂場不
外國人住居向之あり
硝子板買上代六七郎

一 楮幣三兩

林道三郎外島人あり
楮幣買上代六七郎

一 金九千七百七拾九兩

燈明堂は庭外園人
ありて大蔵にあり

一 楮幣貳兩

屋目減補初方
ありて大蔵にあり

神奈川氏部首

一 楮幣 七拾五文

出張大藏
土庄他一か人經の表
歸港之第當は國字
不具之分

一 楮幣 拾兩

下田表は爲交代出法
二 亦本如出考之那
支なる子南

一 楮幣 七拾五文

三藏銀帳は七月十七日
同せりはし之分

一 楮幣 二百載拾三文

經河沼之坤木製於
香用本枝男上代際市
没

一 楮幣 五文

下田表は香清示は梅
時斗之居志一 代時
隔為没

一 楮幣 三兩五分

澄明を後所用水使
候銀乙七分

没

金千兩六百の永百二拾五文下
楮幣 五文子千五百拾五文
永百の七

時 金七千五百二拾五文
楮幣 五文子千五百拾五文
永百の七

右書己七月中一燈取者生之用室備掛
書面三通ハ産ム上

昭治二年二月

庶務 高尾大ニシテ

日持 湯田在認郎同

酒波 子海子及郎

甲田主計

海子張吉

原日持 室田愛助

海子張吉

出張大藏

一 楮幣五十支

大藏省
御書

一 永百五文

但楮幣
御書

一 金九子五百支

大藏省
御書

合 楮幣六十支 永百五文 金九子五百支

御書

此拂

一 楮幣二百支

御書

一 楮幣百六十九兩

御書

神奈川民部省

楮幣六兩五分

此幣六兩五分七厘五分

楮幣五兩五分

此幣九其外用湯抄
九片零六代

楮幣一兩五分

此幣一兩五分
三枚半零六代

楮幣一兩五分

此幣一兩五分
三枚半零六代

金五匁五分

此幣五匁五分

此幣五匁五分
三枚半零六代

楮幣九兩五分

此幣九兩五分

此幣九兩五分
三枚半零六代

楮幣百匁四分

此幣百匁四分

此幣百匁四分
三枚半零六代

一 楮幣六兩

出張大 楮幣
紀伊沙岬 楮幣
出た 小楮幣 楮幣
紙貨

一 楮幣拾壹文五分

年 天楮幣 楮幣
小買物代 七目分

一 楮幣拾壹文五分

楮幣 拾壹文五分
楮幣 拾壹文五分
楮幣 拾壹文五分

一 金九兩

所 金九兩
楮幣 拾壹文五分
楮幣 拾壹文五分

一 楮幣百文

楮幣 百文
楮幣 百文
楮幣 百文

一 楮幣百文

楮幣 百文
楮幣 百文
楮幣 百文

一 金五百兩

金 五百兩
金 五百兩
金 五百兩

一 楮幣百文

楮幣 百文
楮幣 百文
楮幣 百文

出張大藏

一 楮幣五百三枚五支

此は張音古楮幣也

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

一 楮幣千枚五支

此は張音古楮幣也

右同門
但同門

一 楮幣六百三枚五支

此は張音古楮幣也

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

一 余り楮幣千枚五支

此は張音古楮幣也

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

一 楮幣千枚五支

一 楮幣九枚五支

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

一 楮幣四支

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

一 楮幣七両

此は元朝の楮幣にして、向て外に流布せし地は、石碇、毛外、信原、高野、皆在り、但し、此は、
但し、此は、
但し、此は、

神奈川民部省

楮幣拾支

紀伊河野村本郷村
加担子
積入匠匠人足優所

楮幣八支

我陸元用楮八
凡口等々神理
用

楮幣五支

我陸元用楮五
檢料
廿二日

楮幣
全
楮幣
全

為

全
全

楮幣
全

道長

右者
清拂

明治二十九年九月

出張大藏

高尾大工

高尾大工

高尾大工

高尾大工

高尾大工

高尾大工

高尾大工

右之通相違無之候以上

己九月

上野監督正

神奈川県 民部省

合六子五百六拾六支永久又七卜

合楮幣七万七千四百五拾五支永百五拾七又

道浪九子七百六拾五支九拾四セ卜

此拂

楮幣三万七千九百三拾五支
此幣は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外

一 海浪九子七百六拾五支
此幣は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外

一 合五子五百六拾六支
此幣は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外

一 合五子五百六拾六支
此幣は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外

一 楮幣七万七千四百五拾五支
此幣は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外
給料は元禄十一年
發行の者にして
長一ツトシモ外

一 楮幣二両五分

出張大藏
前日所出の傳記
表出張の支分
二下五分

一 楮幣五枚五匁五分

物産局の支分
世人の支分
同出の支分

一 楮幣五枚五匁五分

豆乳の支分
物産局の支分
云日支分

一 楮幣五匁五分

物産局の支分
物産局の支分
物産局の支分
物産局の支分

一 楮幣五匁五分

物産局の支分
物産局の支分
同出の支分

一 楮幣五枚五匁五分

物産局の支分
物産局の支分
物産局の支分

一 金子百匁五分

世洋銀子
三枚五セント

物産局の支分
物産局の支分
物産局の支分

一 楮幣五枚五匁五分

物産局の支分

物産局の支分
物産局の支分
物産局の支分

一 楮幣三枚半
豆州神子元角伍枚
用硝子板子外市
買上代

一 楮幣四枚半
同小旦一西酒酒
買上代

一 楮幣三音二枚半
紅河沙坤木製
買上代

一 楮幣四枚半
外務省
買上代

一 楮幣九枚半
戒在九用
買上代

一 楮幣九拾高
女部
買上代

一 楮幣五枚半
女部
買上代

一 楮幣三枚
同九月十二日
買上代

楮幣拾五兩

戒煙丸素也
不米味皆二魚買上代
西道方十月十九日分

楮幣三兩

燈明者用大之太新
羽子三藏貨張上代
七月十四日分

楮幣拾九兩

本秋運送并本
標附昔用庶和供
既九元夜

楮幣拾九兩

燈明者用大之太新
羽子三藏貨張上代
十月十四日分

楮幣四兩

原之試補初方心
宜用當也
八月九日分

楮幣五兩

外幣有燈明者
並楮幣用礼作
已九月分

楮幣七兩

燈明者用大之太新
羽子三藏貨張上代
八月九日分

楮幣拾五兩

燈明者用大之太新
羽子三藏貨張上代
八月九日分

一 楮幣六枚

一三紀由正音法可
あらん不出法
巡家武補法
おきんたふな生

一 楮幣二兩貳分

燈明堂後所
徳限正五

一 楮幣二兩貳分

燈明堂後所
徳限正五

一 楮幣一枚

元加幣有
用後子
此は当楮幣

一 楮幣二分

元加幣有
用後子
此は当楮幣

金四十四百三枚

楮幣五方三

海限九

金五十三百三枚

楮幣四

海限五

楮幣七兩五分

三浦藩に貯支る金探者

楮幣五兩五分

紀州普請に供出る金探者

金銀五兩五分

洋銀五兩

洋銀五兩

右方己九月十日
焚取者七月
用金探者
拂書面一通

高島藩

高島藩

高島藩

高島藩

高島藩

出張大藏
宝田愛助

有之通相遠世之徒也

己酉

坂田出納

己酉月申燈の者生之用全清掃掃

全清掃掃

格替四子或百子格替

洋銀五兩

格替三万五
洋銀三万五
己酉月申燈の者生之用全清掃掃

十

神奈川民部省

合 金銀百三拾五兩三分 永百三十五兩
楮幣壹万四千五百兩 永百三十五兩
洋銀壹万五千兩 永百三十五兩

出拂

一 楮幣拾五兩 永百三十五兩
下園表(右)拾五兩 永百三十五兩
用取油(右)拾五兩 永百三十五兩

一 金百兩 永百三十五兩
豆州(右)拾五兩 永百三十五兩
終車(右)拾五兩 永百三十五兩

一 楮幣三拾五兩 永百三十五兩
但(右)拾五兩 永百三十五兩
永百三十五兩

一 楮幣三拾五兩 永百三十五兩
永百三十五兩

一 楮幣七拾五兩 永百三十五兩
永百三十五兩

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣 五拾九萬五千元
焼酎産製選用古所
ありて成程に多量に
貸已九月廿八日十月
迄五分

一 楮幣拾五文 此幣分三下
出州神子元為の五文
桐出小角止幣上并

一 楮幣壹文 豆河神子元為の楮幣壹
用枕物子百俵限

一 洋銀五文布 此幣者用洗物於倫致
江文止用フ之液

一 楮幣四拾九文 此幣分
用大工天流開二三破文
名傳人皇領在己十月十日
今同十百直之

一 楮幣五文 此幣者用洗物於倫致
平流止買并

一 楮幣七文 此幣者用洗物於倫致
且年取八人可之俵限

一 楮幣四文 此幣者用洗物於倫致
厚日試補前方知楮幣
去處辨定用此大別後
内子當己十月分

一 楮幣壹方文 此幣者用洗物於倫致
為止并屋取也 分

金百四拾五兩

海合 楮幣壹方三百二拾五兩

洋銀五兩

金九百二拾五兩

残引 楮幣三子首拾五兩九拾五兩

洋銀壹方四拾五兩

一 洋銀壹方四拾五兩

此の條は用紙替り下

金子九百二拾五兩

全 楮幣三子首拾五兩九拾五兩

洋銀五兩

書の面を拂紙の字は程
正洋銀満ちる出法出納目へ
引換り

神奈川民部省

〇

右是十月申物之明者屋上入用金銀
出酒之通之存存是上

明徳二年十月

富為大之是下

調國在昔市下

海島之張昔下

赤羽船以市下

富田愛也下

右之通相遠存之存是上

坂田出波控心下

出
張
大
藏